

初代南島原市長誕生



■5月16日、おおぜいの職員に歓迎され、初登庁した松島世佳市長

新市長決まる

3月31日に発足した南島原市の最初のリーダーを決する選挙が5月14日(日)に行われ、初代市長として、松島世佳新市長が誕生しました。

今回の選挙は、深江町、布津町、有家町、西有家町、北有馬町、南有馬町、口之津町、加津佐町の8町が合併し、新しい枠組みの中で、初めての選挙となりました。

市民5万6千人の舵取り役を決める選挙となったため、その関心度は非常に高く、85パーセントを超える投票結果となりました。

松島世佳氏が就任



■元山芳晴職務執行者から松島世佳市長へパトントンタッチ

市民の皆さまへ



このたび8町合併に伴う5月14日の南島原市長選挙におきまして、市民皆様の温かいご支援により当選することができましたことに、心からお礼を申し上げます。南島原市の初代市長に就任するという、その意味の重さを真摯に受け止め、改めて責任の重大さを痛感いたしております。

平成の大合併の風を受け、この島原半島も新しい枠組みの中で船出となりました。「さあ、はじめよう。新しい南島原(ふるさと)づくり」を念頭に置き、8つの心の一つにして新しいふるさとづくり、市民とともに考える、開かれた市政を目指します。

これからの地方自治は中央に頼らない自立が求められ、リーダーの責任がこれまで以上に重いものとなります。私は、3期11年の県議会議員として長崎県の中に故郷発展のため、微力ながら

らその任を果たしてまいりました。県政の運営に携わり、ほかの地域と比べて故郷の素晴らしさをかみしめるとともに、時には物足りなさを感じたこともありました。しかし、このことはまだまだ発展の余地が十分にあることにほかなりません。これまでの思いを形にして、市民の福祉向上のためにまい進する所存です。

私は、南島原市を活気あふれるふるさとにするため、「新しいしくみ」「産業の振興」「観光の推進」「教育・文化の充実」「住みよい地域づくり」について、33項目の「ローカルマニフェスト」を発表いたしました。この「ローカルマニフェスト」の政策と、合併協議会で決定していただいたことを、これまで培った政治経験と市民の皆さまの声をいただきながら、夢あふれる各種政策を実現していきたいと考えています。「南島原市」建設の一步一歩が力強く踏み出していけるよう、また、市民皆様の一層の幸せを推進するために、精魂を傾ける決意をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

どうか、市民皆様をはじめ、関係各位の温かいご理解と、なお一層のご協力を切にお願い申し上げます。市長就任のごあいさつといたします。

当選証書付与式



選挙二日後、5月16日(火)に当選証書付与式が市役所内で行われ、狩野選挙管理委員会委員長から松島新市長に当選証書が手渡されました。

狩野委員長は冒頭で「ご当選おめでとうございます。私たち5万6千人の市民を、どうぞよろしくお願いします。」と新市長に思いを述べました。

その後の就任挨拶で、市長は職員に対し、「南島原市を活気あふれるふるさとにするため、事務の効率化と行政サービスを念頭において、個々の資質を高めていただきたいと思います。市役所とは市民の皆さまの役に立つ職員がいる所です。」と今後の市政運営への最大限の協力を求めました。

初代南島原市長プロフィール

松島世佳

Tsuguyoshi Matsubima



●主な経歴

- 昭和43年 法政大学経済学部経済学科卒業
- 昭和56年 有家町議会議員
- 平成元年 有家町農業協同組合長
- 平成7年 長崎県議会議員
- 平成11年 長崎県議会議員当選(2期目)
離島半島地域振興特別委員会委員長・文教委員
- 平成13年 厚生委員・市町村合併対策等特別委員
- 平成14年 経済労働委員会委員長
市町村合併対策等特別委員
- 平成15年 長崎県議会議員当選(3期目)
- 平成16年 土木委員会委員
経済活性化対策特別委員会副委員長
- 平成17年 経済労働委員会委員・地域間共生対流促進特別委員会委員・長崎県監査委員・長崎県南農業共済組合理事・有家町農業委員

●よこが

- 生年月日 昭和21年1月23日(60歳)
- 政治信条 百術は一誠にしかず
- すきな言葉 世に生を得るは事を成すにあり(坂本竜馬)
- たからもの 家族
- 愛読書 勝海舟

市長選開票結果(敬称略)

当選	松島	つぐよし	19,162
	さとう	寿信	19,083